



地域概要

本地域は十日町市南部に位置し、棚田群までは、十日町駅から車で約30分。

企業、高校・大学、都市住民と農業農村体験交流を積極的に行い、関係人口の増加を図っています。互いの関係を尊重した交流を大切にするこゝで、棚田の維持や地域活性化、伝統文化の伝承に繋がっています。



棚田活動

東京松之山会の田植え、稲刈りを通じたふるさと交流活動を始め、東京日野市の実践女子大学と都市と農村の支え合いの関係を創る活動を実践。夏祭りや収穫祭、道普請などに交流団体が参加して棚田のある生活維持のために貢献！



東京松之山会の稲刈



交流団体が参加する収穫祭

特産品の紹介

生産者のお米の特徴を大切にして交流団体を中心に販売。また、季節の山菜、野菜を東京日野市立カワセミハウスで年4回「布川ファーマーズマーケット」を開催。



山里布川米ほか



布川ファーマーズマーケットを運営する学生



棚田関係団体の紹介、活動実績

布川の棚田群に関わる団体はこれまで5団体

【活動実績】

平成26年5月～ 農業体験（食育）（東京実業高等学校陸上競技部）参加人数30人

平成27年6月～ 棚田アート（観光）（東京飲食店・おひつ膳田んぼ）参加人数20人

平成28年8月～ 大学ゼミ活動（地域振興）（実践女子大学）参加人数10人

平成29年11月～ 日野オクトーバーフェスト（都市農村交流）（東京都日野市立カワセミハウス）参加人数100人

令和1年6月～ 農業体験（ふるさと交流）（東京松之山会）参加人数30人

令和1年6月～ 農村体験（都市農村交流）（東京日野市豊田地区有志）参加人数10人

令和2年10月～ 布川ファーマーズマーケット（都市農村交流）（東京都日野市立カワセミハウス）参加人数50人

令和6年1月 つなぐ棚田遺産感謝状受賞（実践女子大学）



東京日野市豊田地区有志の田植え



日野オクトーバーフェスト

今後の目標

多様な団体・個人との積極的な交流はさらに新たな交流を生み出します。今後も棚田を通じた体験や交流を行い、より多くの人たちに棚田のある生活の魅力、厳しさの両面を知ってもらいながら、棚田のある生活の維持や農業の担い手確保、地域の盛り上がりにつながるよう取り組んでいきたいと考えています。

また、年4回開催する東京日野市の「布川ファーマーズマーケット」や交流している団体が東京で開催する会合には積極的に参加して、交流活動が一方通行にならないように心がけていきます。



交流団体を招いた盆踊りの風景



地域概要

イギリス人写真家ジョニー・ハイマス氏の写真集「おこめ」

（1996、小学館）の中で、松之山地域の美しい棚田の景観として紹介され、各種メディアでも注目されるようになったことから、地域住民、自治体、観光関係団体等により、景観を維持するための管理が継続されてきました。

まつだい駅より自動車です約20分、国道405号沿いに駐車場あり。



棚田活動

令和3年に十日町市観光協会松之山支部の尽力により棚田景観の一部である茅葺小屋の修繕が完了し、休憩スペースが整備されました。都市住民向けの農作業体験を実施し、地域交流を進めています。



茅葺小屋で休憩中・・・



田植え体験

特産品の紹介

留守原の棚田で収穫された米は、住民有志による松里棚田米の会が買い上げて、地元出身者の団体である東京松里会の会員や松之山温泉の旅館への直販を行っています。



収穫したお米をどうぞ！

令和5年度
新米

「松里棚田米の会」
魚沼産コシヒカリ販売のご案内

留守原の棚田はこれまで住民の協力を得て管理されてきましたが令和5年に魚沼市の「つなぐ棚田遺産」に認定されました。「故郷でとれたお米」を東京松里会の皆様にご提供させていただきたいと思い直接お届けすることになりました。



価格	玄米	30kg	20kg	10kg	5kg	備考
持ち帰り	11,000円	7,500円	3,800円	2,000円	袋代込み	
発送	13,500円	9,500円	5,300円	3,400円	送料・箱・袋代込み	
持ち帰り	27kg	20kg	10kg	5kg	備考	
持ち帰り	12,000円	9,000円	4,600円	2,400円	袋代込み	
発送	14,500円	11,000円	6,000円	3,800円	送料・箱・袋代込み	

※持ち帰り価格は、荷造された折にお持ち帰りした場合の価格です。
※白米27kgは玄米1袋30kgを精米した量となります。
※留守原の棚田米が不足した場合は、松里地内の棚田米となります。

魚沼産コシヒカリ販売のご案内

棚田関係団体の紹介、活動実績

【農用地維持】

現在の棚田の保全活動は、天水・藤倉集落協定、および、天水・藤倉農地保存会が中心となって取り組んでいます。農用地の耕作は地主が行っていますが、営農条件が厳しく、個人で棚田を維持するのは難しいため、災害復旧や修繕が必要な場合は中山間直接支払交付金から費用を支出しています。

【景観管理】

景観を維持するための草刈り作業を、住民有志、松之山温泉組合、十日町市観光協会が共同で年2回実施しています。



今後の目標

棚田の保全活動を継続するため、活動を主体的に取り組む共同の管理組織を設立して、農地管理の継続と棚田景観を活かした観光交流や直販等を進めていきたいと考えています。



水路の泥上げ作業



農用地についての検討会



地域概要

三桶の棚田がある下川手集落は長野県と県境を接する十日町市の南西、松之山地域にある。毎年、新潟大学Wホーム「ほりごたつ」チームと年間を通じて交流している。また、11月3日には「美人林まつり」と収穫祭を行うなど、地域活性化に取り組んでいる。



棚田活動

集落有志で農作業受託グループ「石原軍団」を組織し、耕作放棄地拡大防止の為、共同農作業に取り組んでいる。また、地域おこし協力隊を招き、農業の担い手確保につながるよう活動中。



石原軍団の稲刈り



地域おこし協力隊員が夫婦で農作業

特産品の紹介

この棚田で穫れた酒米を使い、かつて集落内で造られていた酒「松風」を復活。又、美人林の間伐材を利用した木工品製作など、集落活性化に取り組んでいる。



松之山の松風720ml 1,870円



美人林のブナを使った木工品（開発中）



棚田関係団体の紹介、活動実績

三桶の棚田に関わる団体は2団体

【活動実績】

令和4年11月 美人林まつり・収穫祭
参加人数100人

令和4年12月 川手地域づくり
協議会設立
（隣の上川手集落）
参加人数31人

令和5年5月 新潟大学Wホーム
ほりごたつと田植え
（新潟大学学生）
参加人数30人

令和5年7月 ホタル観賞会
参加人数60人
（新潟大学学生）

累計参加者数は221人！！



田植え後の集合写真



川手地区協議会設立

今後の目標

ここで育まれてきた、この棚田をはじめとした貴重な地域資源を活用し、将来にわたり持続可能な集落・地域となるよう、農業の担い手確保を最優先に地域住民がここに住むことに幸せを感じられるよう取組んでいきたい。

毎年11月3日に「美人林まつり」というイベントを新大Wホームほりごたつの皆さんと一緒に開催。無農薬米やなめこの販売、なめこ汁のサービスや地酒「松風」の試飲など地元の特産品を堪能できます！



冬の「三桶の棚田」